

平成27年4月14日

消防庁

大規模イベント開催時の危機管理等における 消防機関のあり方に関する研究結果

消防庁では、2019年のラグビーワールドカップや2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会という大規模イベントの開催に向けて、消防機関等が今後取り組むべき課題及び対応策をとりまとめましたので公表します。

1. 研究の趣旨

- ・本研究は、2019年のラグビーワールドカップ、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会という国家的、歴史的なイベントの開催にあたり、テロ災害等の発生時に避難住民の誘導や救助・消火活動、傷病者の搬送等を担う消防機関において、現状の課題を整理、分析し、早急かつ計画的に体制を整備していくことを目的とし実施したものである。

2. 研究の進め方

- ・研究では、地下鉄サリン事件（1995年）やボストンマラソン爆弾テロ事件（2013年）等の過去の具体的な事例から教訓、課題等を抜き出すとともに、大規模イベント開催中に爆弾テロやNBCテロ等が発生した際の消防機関等の活動をシミュレーションし、テロ災害等発生前後の消防機関の活動の段階毎に実践的な課題の抽出及び対応策の検討を行った。

3. 研究の結果

- ・今後の大規模イベントの開催にあたり、消防機関等が実施する必要がある各種計画等の作成や人員、車両、資機材等の配備、消防職員等への教育や実践的なテロ対処訓練の充実、関係機関間の連携の強化等について整理するとともに、大規模イベントの開催に向けた具体的な目標を工程表として取りまとめた。

【別添資料】

「大規模イベント開催時の危機管理等における消防機関のあり方に関する研究結果」
について（概要）

[「大規模イベント開催時の危機管理等における消防機関のあり方に関する研究結果」](#)



（連絡先）

消防庁国民保護・防災部防災課国民保護室

担当：近藤課長補佐、安藤事務官

TEL：03-5253-7550 FAX：03-5253-7543

大規模イベント開催時の危機管理等における消防機関のあり方に関する研究結果について（概要）

研究の趣旨

現在、国際社会では各地で多様な形態のテロが発生し、また、NBCテロ災害等、特別な備えが必要となる事案が発生する恐れも増してきている。2019年のラグビーワールドカップ、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会という国家的、歴史的なイベントの開催にあたっては、テロ災害等の緊急事態に際し、避難住民の誘導や救助・消火活動、傷病者の搬送等を担う消防機関においても、早急に、そして、計画的に体制を整備していく必要がある。

本研究は、こうした状況認識の下、国家的な大規模イベントの開催に向けて、消防機関がこれから取り組まなければならない課題について、様々な視点から分析し、整理することを目的とし、実施したものである。

なお、本研究にいう大規模イベントとは、2019年ラグビーワールドカップ及び2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の2つのイベントを想定している。

研究の方法等

本研究では、地下鉄サリン事件（1995年）やボストンマラソン爆弾テロ事件（2013年）等の過去の具体的な事例から教訓、課題等を抜き出すとともに、大規模イベント開催中に爆弾テロやNBCテロ等が発生した際の消防機関等の活動をシミュレーションし、テロ災害等発生前後の消防機関の活動の段階毎に実践的な課題の抽出及び対応策の検討を行った。

本研究は、消防が今後取り組むべき事項を整理するものであることから、テロ災害等発生前後の消防機関の任務である避難住民の誘導、救助活動、消火活動、傷病者の搬送等を中心として検討した。なお、関係機関間の連携が必要な事項については、必要な範囲で課題を検討整理した。

テロ災害等の発生前後における消防機関の任務及び主な活動は、右のとおりである。

1. テロ災害等の発生時における消防の任務

- 避難住民の誘導
- 救助活動
- 消火活動
- 傷病者の搬送 等

2. 消防機関のテロ災害等の発生前後の主な活動

●テロ災害等の発生前

- 競技実施建築物等の立入検査
(火気使用設備状況・避難経路の確認等)
- 医療機関への働きかけ
(特別な収容体制の確保依頼)
- 状況に応じた警戒
(火災危険、NBCテロ、熱中症対応等を想定・考慮した人員、資機材等の配備)

●テロ災害等の発生後

- 覚知、緊急情報の伝達
- 避難誘導
- 検知・ゾーニング
- 消火活動
- 傷病者の救助
- 除染
- トリアージ・応急救護
- 傷病者の救急搬送

大規模イベント開催時の危機管理等における消防機関のあり方に関する研究結果について

研究結果の概要

想定される状況と主な課題

1. テロ災害等の発生に備えた警戒体制

- 会場等を巡回し、警戒する人員や会場の警戒本部等で待機する人員及び車両、資機材等の確保が必要。
- テロ災害等の発生時に、近隣の消防署や他の消防本部等から人員や車両、資機材等を速やかに現場へ投入できる体制の構築が必要。
- 警戒体制の構築にあたり、地元消防本部において人員や車両、資機材等が不足する場合、他の消防本部からの応援等により補うことが必要。
- この時、警戒体制が国家的な対応が必要となるテロ対策に係るものであること等を踏まえ、国が広域的な調整やその他支援を行うことが必要。

2. テロ災害等の覚知、通報

- 警戒にあたる消防職員等は、テロ災害等発生時に現場に先着し、ファーストレスポnderとなるため、状況に応じてNBCテロの発生を疑い、二次災害に遭わないよう適切な行動を取るための教育が必要。
- このため、警戒にあたる消防職員等には、携帯可能な防毒マスクや検知器等、最低限必要な装備・資機材等の配備が必要。
- 会場スタッフや大規模集客施設の職員等に、NBCテロに関する基礎知識を普及させることが必要。

3. 消防活動の開始

- 消防各隊が速やかに現場に到着するために、事案発生後の速やかな交通整理や部隊の集結スペースの確保が必要。
- また、交通の混雑等により迅速な部隊集結が困難になると予想される場合には、道路混雑等の影響を受けないヘリコプターや消防艇等による人員や物資等の支援が有効。
- テロリストの潜伏等が危惧される現場では、警察機関等と緊密に連携し、消防機関や医療チーム等の安全を確保することが必要。

4. 観客等の避難誘導

- 各機関が適切な情報共有の下で避難誘導の方針を統一し、現場の警戒人員が所属機関を問わず一致した避難誘導を実施できる仕組みが必要。

5. 検知・ゾーニング

- テロの発生時には、直ちにNBCの検知を実施し、検知結果を関係機関間で共有することが必要。
- NBCテロが疑われる場合には、NBC対策隊による検知やゾーニングの結果に基づき、消防隊や救急隊は活動を開始する。このため、時間との戦いとなる傷病者の救助・救急活動を迅速に開始できるよう、NBC対策隊を速やかに現場に投入することが必要。

6. 消火・救助活動

- 爆弾テロの場合、爆発による倒壊建物等における救助活動では、建物等の更なる倒壊等による二次災害の危険性への配慮が必要。
- NBCテロの場合、汚染地域内での救助活動には、陽圧式防護衣等の防護措置を施した十分な数のNBC対策隊を投入することが必要。

7. NBC災害により汚染された者の除染

- NBCテロ発生時には、汚染された傷病者等に対し、除染テントや大型除染システム等を活用し除染を実施する。
- 汚染された傷病者の多数発生時には、必要な除染能力を、近隣の消防本部等も含め、速やかに確保することが必要。

8. トリアージ、応急救護から救急搬送、医療機関の収容

- 傷病者は、現場付近の応急救護所等においてトリアージされ、救護・医療提供を受けながら、医療機関への搬送を待つことになる。
- 会場等に応急救護所の設置スペースや救護用資機材等の確保が必要。
- 傷病者の搬送手段の確保が必要であり、特に、地元の消防本部は計画的に救急車両等の搬送力を増強することが必要。
- 多数傷病者の発生に備えた、医療機関の傷病者の受入れ数の確保が必要。また、NBC災害による傷病者を医療機関において円滑に受け入れるため、事前の調整が必要。

大規模イベント開催に向けた消防の具体的目標

1. 計画等の作成

- 地元消防本部は、イベント主催者等が作成する会場の警戒に関する全体計画等との整合性を図りながら、消防の応援に係る地元消防本部の配置予定人員数及び他の消防本部からの応援予定人員の規模を含めた**会場等消防警戒計画**を作成する。〔2016年度目途〕
- 地元消防本部は、テロ災害等の発生時に備え、災害の規模等に応じた出動部隊数や応援要請の基準、部隊の集結場所等を定めた**消防応急対応要領**を作成する。〔2017年度~〕
- 消防庁は、テロ災害等の発生時に備え、派遣部隊の規模や部隊編成、進出拠点等を定めた**ラグビーワールドカップ緊急消防援助隊アクションプラン**及び**オリンピック・パラリンピック緊急消防援助隊アクションプラン**を作成する。〔2017年度〕
- 開催地の都道府県は、関係消防本部及び医療機関等間で調整の上、広域的な分散搬送を含めた、**地域医療搬送要領**を作成する。〔2017年度~〕

別添資料1、2参照

2. 人員の確保

- 地元消防本部は、会場等消防警戒計画の調整状況を踏まえ、消防の警戒に係る配置予定人員の規模を決定し、計画的に必要な人員を確保する。〔2015年度~〕
- 地元消防本部の配置予定人員では、人員が不足する場合、他の消防本部からの応援予定人員の規模を決定する。〔2016年度~〕
- 消防庁は、他の消防本部からの応援体制の構築にあたり、必要な調整、支援を行う。

別添資料1参照

3. 車両、資機材等の確保

- 会場等の警戒体制の構築にあたり、会場等の警戒にあたる部隊は、別添資料2のような装備、資機材等を準備する。
- 消防庁は、NBC災害対策車両やスーパーアンビュランス、大型除染システム、NBC検知・同定装置等の車両や資機材等を、無償貸与制度等を活用しながら、計画的に配備する。〔2015年度~〕

別添資料2参照

4. 研修・訓練等の実施

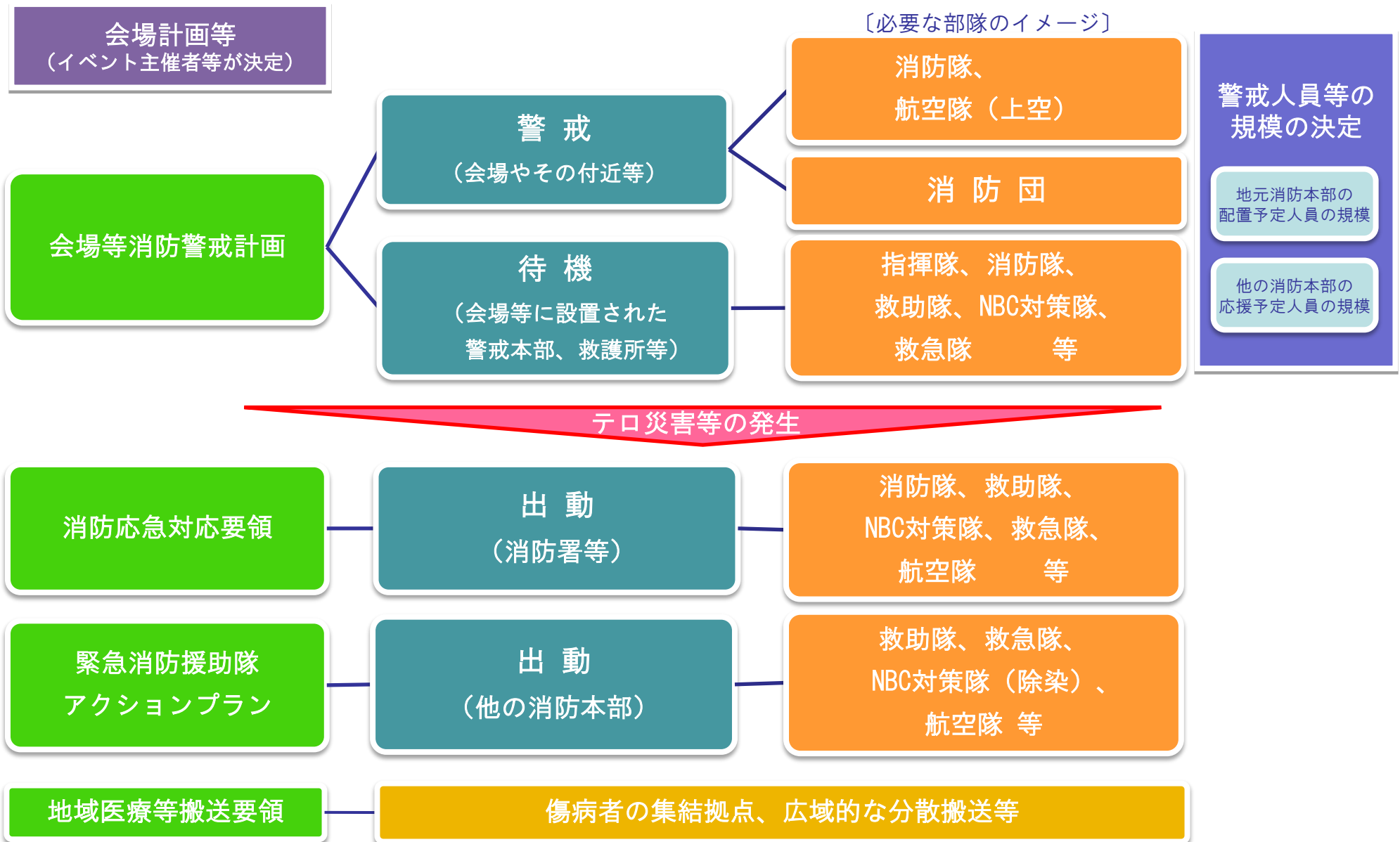
- 消防庁は、NBC対策隊に対するNBC災害の専門部隊としての標準化された教育カリキュラムを決定〔2015年度〕し、消防大学校において当該カリキュラムを用いた教育訓練を実施するとともに、教育訓練を受けた者に対する認証を行う。〔2016年度~〕
- 消防庁は、警戒にあたる消防職員に対するNBCテロ災害等のファーストレスポnderとしての教育内容を決定〔2016年度〕し、各消防学校等において教育訓練を実施する。〔2017年度~〕
- なお、警戒にあたる消防団についても、NBCテロ災害等のファーストレスポnderとなる可能性があるため、各消防学校における訓練等に上記の内容を反映する。〔2017年度~〕
- 消防庁は、会場スタッフや大規模集客施設等の職員に対するNBCテロ災害等の基礎知識について普及啓発資料を作成し、普及を図る。〔2016年度~〕
- 消防庁は、国と地方公共団体が共同で実施するテロ災害等への対処能力向上のための国民保護共同訓練について、大規模イベントの開催団体を中心に実施回数を増やすとともに、内容の充実を図る。

別添資料2参照

5. 関係機関間の連携

- 国は、イベント期間中の警戒体制の水準を関係機関間の適切な役割分担の下で確保するとともに、警戒本部や合同指揮所等を中心に、関係機関が情報を共有し、連携する仕組みを構築する。
- 多数傷病者やNBC災害により汚染された者の医療機関の受入れ数について、事前に医療機関等と調整し確保する。

別添資料1 《各種計画等の作成及び必要な部隊等》



※消防は、イベント主催者等の作成する会場計画や警戒に係る全体計画の下、全体計画や関係機関の計画と整合性を図りながら、各計画等を作成する。

別添資料2 《各部隊の区分、任務、車両、資機材、教育》

区 分	発生前の任務	発生後の任務	必要な車両	必要な資機材等	必要な教育
消防隊	・会場等における警戒 (巡回)	○進入統制ライン・消防警戒区域の設定	ポンプ車	○防毒マスク(多用途) (巡回時各自で携帯) ○NBC検知器(携帯型) (巡回する隊ごとに携帯)	○NBCテロ災害等のファーストレスポnderとしての教育
	・会場等の警戒本部に待機 ・消防署等に待機	○観客の避難誘導等 ○救助活動支援 (ショートピックアップ後の傷病者をウォームゾーンへ搬送) ○除染支援		—	○レベルB防護服 ○レベルC防護服
消防団	・会場等における警戒 (巡回)	○後方支援、避難誘導等	—	○携帯無線機 (巡回時各自で携帯)	○NBCテロ災害等のファーストレスポnderとしての教育 内容を訓練等に反映
航空隊	・上空からの警戒 ・近隣ヘリポート等で待機	○上空からの情報収集 ○傷病者の搬送 等	ヘリコプター	○ヘリサット	○必要に応じて、NBCテロ災害等のファーストレスポnderとしての教育
指揮隊	・会場等の警戒本部に待機	○情報収集、指揮命令 等	指揮隊車	—	
救助隊	・会場等の警戒本部に待機 ・消防署等に待機	○爆弾テロ等に伴うがれきや破損車両等からの救助活動	救助車、工作車	○ウォーターカッター等の切断用資機材 ○救助用支柱資機材 ○探索用高度資機材 (画像探索機、地中音響探知機等)	○必要に応じて、NBCテロ災害等のファーストレスポnderとしての教育
		○NBCテロでは救助活動の支援 (ショートピックアップ後の傷病者をウォームゾーンへ搬送等)		○レベルB防護服 ○レベルC防護服	
NBC 対策隊 (NBC災害 専門救助隊)	・会場等の警戒本部に待機 ・消防署等に待機	○検知・同定 ○ゾーニング ○救助活動 (ホットゾーン内のショートピックアップ)	NBC災害対策車	○レベルA防護服(陽圧式) ○NBC検知・同定装置	○NBC災害への対処に係る 専門教育 ○NBC災害への対処能力の 認証
		○救助活動支援 (ショートピックアップ後の傷病者をウォームゾーンへ搬送等)		○レベルA防護服(陽圧式) ○レベルB防護服	○必要に応じて、NBCテロ災害等のファーストレスポnderとしての教育
	・消防署等に待機	○除染	除染車	○レベルB防護服 ○レベルC防護服 ○大型除染システム	
救急隊	・会場等の救護所に待機	○傷病者の救護、搬送	救急車、応急救護車	—	